

ANGEL AID

エンジェルエイド・ニュースレター 2016年No.1



一般社団法人エンジェルエイド

エンジェルエイドは、地球上のあらゆる地域、特に発展途上国の青少年の教育支援、健康、保健 衛生教育支援を通して、子供達が逞しく生き、社会や国を支える人材として成長していくための力になりたいと考えています。

—あなたの

ONE ACTION が

世界を変える—

2014年12月 一般社団法人エンジェルエイド発足！

2014年12月に一般社団法人として発足した「エンジェルエイド」は、2015年4月より、支援第一弾、ブッダガヤ学生支援プロジェクト「ドリーム」を開始しました！

その支援開始にあたり、2015年7月、エンジェルエイドの代表が、支援先となるブッダガヤのNGOチルドレンエイドの活動を視察するため、インド・ビハール州・ブッダガヤを訪問しました。

エンジェルエイドは、どんな環境の中

でも 希望を失わず、明るい未来を

信じて努力を続ける子供達を応援

します。自立を目指し、新しい時代

を創っていく子供達と一緒に、大き

な夢や希望を育てていきませんか。



インド・ブッダガヤ学生支援プロジェクト 奨学生たち

＜一般社団法人エンジェルエイドが応援する現地NGOチルドレンエイド＞

ブッダガヤの「チルドレンエイド」は、スダマ・クマールさんと井上如さんが2002年より夫婦で運営しているNGOです。エンジェルエイド役員たちは、8年ほど前からNGOチルドレンエイドが運営する スーリヤ・バハルティ・スクール（スーリヤ校）を応援して来しました。

スーリヤ校は、貧しい子供達に無料で教育を提供しています。そして今、その子供達が成長し、大学に入る年代を迎えました。大学に行かなければ、また貧しい村に戻るしかない現実を知り、私達は、彼らの大学・専門学校等の高等教育進学支援、職業に繋がる日本語教育支援等を通して、彼らの自立と夢の実現を応援していくことにしました。支援は、現地NGOチルドレンエイドを通して行われます。

私達エンジェルエイドは、どんな環境の中でも希望を失わず、
明るい未来を信じて努力を続ける子供達を応援します。

特集

- ・ ブッダガヤ学生支援プロジェクト
エンジェルエイド代表・現地視察
- ・ スーリヤ・バハルティ・スクール卒業生 奨学生紹介
- ・ 日本語教育支援
- ・ ブッダガヤ母子保健プロジェクト
- ・ 現地NGOチルドレンエイド
- ・ 洪水緊急復興支援のお願い

PROJECT "DREAM"



一般社団法人エンジェルエイド・支援第一弾

ブッダガヤ学生支援プロジェクト「ドリーム」スタート！

エンジェルエイド代表 友田美代子

2015年7月末 エンジェルエイドの説明会を開いた後面接し、支援を決定した卒業生に認定書を渡すためにブッダガヤを訪れました。

集まったスーリヤ校の卒業生たちに、エンジェルエイド(Angel Aid Association)の理念を伝え、支援を決定した学生一人一人に認定書を手渡しました。

大学を目指していた70名の卒業生の内、26名はすでに結婚していました。(大半は女子ですが、男子も数名結婚) 殆どが親から結婚させられてしまったようですが、それでもなお諦めずに勉強を続けている男子もいました。

日本にも来て、大学進学をととても楽しみに勉強していた女の子のサンギータも、無理やり結婚させられてしまっていました。結婚後かなりきつい精神的ダメージを受けてしまいましたが、諦めきれず一歳半の子供を育てながら大学に入学申請をすることを決意しました。その申請のため成績表を受け取りに来たサンギータと学校でバッタリ出会い、5年ぶりの再会を喜び合いましたが、美しかった彼女の中に秘められた学ぶ事への強い情熱に胸が熱くなりました。



サンギータ

ブッダガヤのある ビハール州

ブッダガヤのあるビハール州は識字率が63.82%（2011年の調査）でインドの中で最も低いです。男性の識字率は73.39%、女性の識字率は53.33%です。農村部の識字率は43.9%で、その内、男性が57.1%、女性が29.6%です。インド全国の国民一人当たりの年間所得が1265ドルであるのに対し、ビハール州の国民の一人当たりの年間所得はわずか360ドルです。そして州の全人口の30.6%が貧困ライン以下の生活をしています。ビハール州はインドの中で最も貧しい州の一つです。



★インド・ ブッダガヤ 学生支援 プロジェクト 「ドリーム」

インドブッダガヤの貧しい家庭に産まれた子供たちは、10年間スーリヤバハルティスクールで、無償の教育を受けることが出来ました。その彼らが今、目を輝かせて夢や希望を語り始めています。

私たちエンジェルエイドは、子供たちがカースト差別を克服し、描いた夢を実現して社会に貢献出来るよう、スーリヤバハルティスクール卒業生の大学進学を応援します。

未来の夢を実現するインドブッダガヤ学生支援プロジェクト
"DREAM"へのご参加、ご支援お待ちしております！

* 面接

サポートを望む卒業生にアンケートに答えて貰った後、一人一人と話をしました。

現在の家族、自分自身の状況、何を大学で学びたいのか、大学の状況、進学のために必要な経費、将来の夢、希望、志、なりたい職業、その夢の実現のために現在 考え、努力していることは何か、その夢を実現することによって どうしたいのか、どんな書籍を読んでいるのか、スーリヤ校の教育で自分はどうか変わったのか、etc 一人一人とじっくり話すことができました。

皆んな、育ててくれた両親や家族を助けたい、貧しい人のためにやくにたちたい、地域や国を護り、発展させ、インドのためにつきたい、将来社会や世界にどう貢献したいか、少し緊張しながらも一生懸命伝えてくれました。日々の生活では、勉強の合間に近所のこどもたちに勉強を教えたり、農作業等 全員家の手伝いをしていました。



* 卒業生の村訪問

法律では禁止されているカースト制度ですが、彼等の村社会では慣習として依然残っています。カースト制度により家の造りも、土の家、レンガの家、コンクリートの家と、少しずつ違ってきます。

本当に貧しい卒業生の家は、土や牛の糞を固めた壁でできていて窓もなく、部屋は、小さく暗く家族全員で寝ているものですが、「ウエルカム！僕のスタディールームです。」と喜んで案内してくれました。びっくりするほど多い停電、裸電球がろうそくの薄暗い光の中で、何時間でも勉強する彼らの姿は信じ難く、衝撃でもありました。





スーリヤ校で学んできた彼等も、もし大学に行かなければ、産業も多くないブッダガヤでは村に戻り、農耕作業をするしかありません。貧しさの中にあっても、家族を大切に思い、家族のために惜しみなく働くとする彼等、夢や希望を持つ喜びを知った彼等が、農耕以外に社会に貢献する職業を得るためには、どうしても大学を卒業する事が必須となる現実があります。貧困やカースト制度から脱却するためには、教育しかない事を改めて強く感じました。



* 卒業生との交流を通して <以前日本に来た卒業生たちと再会>

12、3歳だった彼等が、逞しい青年に成長している姿が嬉しかったです。一生村から出られない人生を送るかもしれなかった彼等にとって、日本に来たことは人生を変えてしまうくらいの大きな出来事だったでしょう。多くの学生が家族や社会の役に立つ事だけでなく、インドや世界に貢献していきたいという気持ちを真剣に伝えてくれました。



* 日本語に挑戦

スーリヤ校で日本語を学んできて、卒業後また新たに日本語検定に向かって勉強を始めた数人の卒業生と一緒に、日本語の学習会をしました。日本とインドの関係がますます親密になり、日本企業の需要も高まっていく中、カーストの差別が影響しない日本語の能力を生かす仕事は、彼らにとっては大きな力となっていきます。エンジェルエイドも大学支援と共に、貧困やカースト制度から脱却する要にもなる、日本語教育にも取り組んでいきたいと考えています。

日系ブラジル人とブラジル人のサポーターから手作りのブックマークと天使のお人形をプレゼント！

天使のお人形はインド人の子供達がモデルです。素敵なプレゼント、ありがとうございました！



Lu Kakoさん



Neusa Naliaさん





* スーリヤ校訪問

多くの子供たちが学校に通うことができない状況の中、30名の定員に1,500名の応募があるスーリヤ校で幸運にも10年間学ぶことができた彼らが、どのような生活を送ってきたのかをみてきました。スーリヤ校の子供達は、キラキラ光る瞳と、はにかむような優しい笑顔で迎えてくれました。

洪水被害で腐ってしまった机が使えず、地べたに座って学んでいる低学年の生徒、ぎゅうぎゅう詰で机に座っている高学年の生徒も、みんな真剣な眼差しで勉強していました。年齢を追うごとに、貧しさを感じさせない 穏やかで落ち着いた、意志の力を感じさせる顔立ちになっていく様子と、女の子達の所作がエレガントに美しくなっていくのには驚きました。そして、お祈りや瞑想の時間に入るとすぐに広がっていく精妙な空間と、子供達の真剣なお祈りの姿がとても美しかったです。尊い教育を受ける事が意味するものを、改めて知る事ができたように思いました。素晴らしい教育を受けている 子供達の未来が、明るく開いていく事を、願わずにはいられませんでした。



* インドを訪問して

今回の訪問を通して、実際に支援する子供達に直接会い、住んでいる村を訪問し、インタビューしたことで、彼等を取り巻く様々な状況や情報、そして 彼等自身の思いや考えを知る事ができました。学生達や現地の人々そして文化に直接 肌で触れた事は、支援する事の意味を深く考え、希望に満ちた世界を目指す エンジェル エイドの使命を改めて確認する貴重な機会となりました。エンジェル エイドとしての初めてのプロジェクト、“プロジェクト ドリーム”から生まれる 喜びを、これからも多くの方とシェアしていきたいと思います。ご支援どうぞよろしくお願いいたします。



インド・ブダガヤ学生支援プロジェクト「ドリーム」奨学生

エンジェルエイド・サポーターの皆様、スーリヤ・バハルティ・スクールの卒業生の大学進学支援にご協力ありがとうございます！奨学生の感謝のメッセージと彼らの夢をご紹介します。エンジェルエイドは、奨学生の中でも、特に優秀で将来有望な学生を特別奨学生として選拔し、大学学費に加え、塾やアカデミーでの教育も支援しています。

日本のサポーターの皆さん、ナマステ！



サルボットム

夢「建築系エンジニア」

ご支援いただいて、心の底から深く感謝しています。私はシビルエンジニア学科を専攻しています。奨学生に選ばれるまで、エンジニアになるという夢が現実になるかも知れないとは思っていませんでした。私のゴール、夢は、エンジニアになってから家族や人々を助けて幸せにすることです。将来、スーリヤ・バハルティ・スクールのような学校を建て、貧しい子供達に教育を受けるチャンスをあげたいです。ご支援に感謝して、夢を必ず実現できるよう、一生懸命頑張ります！

日本のサポーターの皆さん、こんにちは！



チャネツシュ

夢「日本語通訳」と「医者」

僕は今、大学の勉強と日本語を一生懸命勉強しています。日本語能力検定試験のN5を取得し、次はN4取得を目指しています。まず日本語通訳になって、学費を貯めて、いつか医学部に行き医者になりたいと思っています。僕は小さなころから、家族や村人が結核などの病気で苦しんで死ぬのを見てきました。僕は地元で立派な病院を建て、多くの人たちを救いたいです。皆様のご支援のおかげで大学での勉強が継続出来ます。心より感謝しています！



ビニート



夢「公務員になって人々や国に奉仕し、インドを発展させたいです！」



サノージ



夢「エンジニアになって、苦労して育ててくれた母親に楽をさせてあげたいです。」



ニーラジ

夢「日本語が話せるエンジニアになって、日本企業がインドへ進出するのを手伝う仕事がしたいです。」



ブレームジート

夢「クリケット選手になって、母校スーリヤ・バハルティ・スクールを有名にしたいです！」

(現在クリケット選手養成所で訓練中)



エンジェルエイド・サポーターからのメッセージ

國本りつ子さん

私は3年程前、現地でボランティアをさせて頂いた事があるんですが、インドの子供達は本当に、本当に貧しい中、それでも教育を受けられる事によって、自分の将来に夢を持って輝いていました。日本にいる私達のほんの少しの支援が、彼等にとっては大きな将来への夢の扉となっていた事に、私は大変な衝撃を受けました。どうか、確実に支援が届く団体に、沢山の日本の方が支援下さる事を、心からお願い致します。



岡本 明子さん

朝に夕に眺めたマハバディ寺院、いつまでもここにいたいと思える風景でした。元気で伸びやかで、いつも穏やかな表情の子供達が、たぐり寄せた新しい未来、彼等の明日がますます輝くことは、後に続く子供達が夢を追える事に繋がります。こうして学びの場を用意出来るのは、子供達のために寝食を忘れ奔走する人たちの存在があるから。日本から彼等をいつもいつも応援しています。



シェリー美貴子さん

彼らが医師や教育者や技術者になって、ひとびとの役に立ちたいという夢を叶えるためには、大学や専門学校の知識が必要です。私達がサポートをすることで、経済的に貧しく、学校に行けない学生達が、将来社会に羽ばたき、インドや世界のために活躍してくれるかと思うと、とても楽しみです。たくさんの力が集まってくることを祈ります。



ニーラジ
夢「エンジニア」



ラフル
夢「ITエンジニア」



アジャイ
夢「空軍・軍人」



リトゥ・ラージ
夢「心臓外科医」



スマ
夢「公務員」



ビクラム
夢「エンジニア」



ラメッシュ
夢「軍人」



アンチャル
夢「教師」



ラフル
夢「教師」



プリティ
夢「警察官」



アスラダ
夢「医者」



ピントウ
夢「エンジニア」



シブ
夢「警察官」



ビカッシュ
夢「経営者」



チャンダン
夢「エンジニア」

＜日本語教育支援＞ エンジェルエイド・サポーターとスカイプ交流



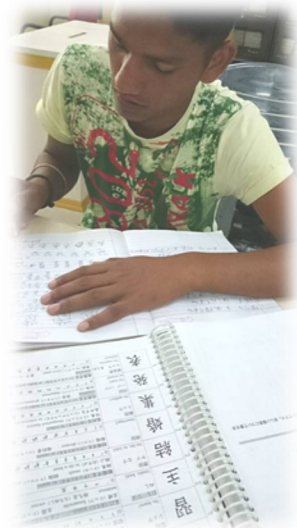
＜ブッダガヤの日本語教室＞

スーリヤ校卒業生を中心に、ブッダガヤで毎週日曜日に日本語教室が開催されています。スーリヤ校を運営している井上さんがボランティアで15名を教えています。すでに日本語能力検定試験（JLPT）のN5（5級）を取得した2名は、その上のN4（4級）を目指しています。その他の学生はN5合格を目指して頑張っています。2015年12月にはデリーでJLPTの試験を受験しました。スーリヤ校では毎週2時間の日本語授業をしています。スーリヤ校卒業生の中で、特に日本語に興味のある学生を毎週日曜日に指導しています。



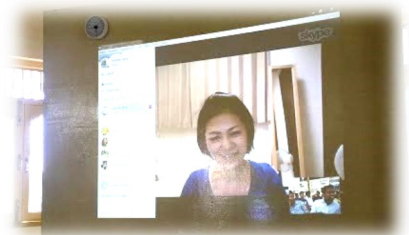
＜スカイプ・レッスンのお手伝い＞

エンジェルエイドのサポーターたちは、スカイプで楽しく交流しながら日本語を話す練習のお手伝いをしています。授業で覚えた言葉や文章を実際に使って話することで、日本語が定着していきます。様々な話題で自由な会話をしたり、テキストの文章を使ったり、ゲームも交えて楽しくレッスンしています。



＜日本語を学ぶ意義＞

貧困やカーストなどの壁を乗り越え、社会で成功するには教育によって実力をつけるのが一番の方法です。スーリヤ校卒業生たちは、コンピュータの基本的な知識や技術を身につけられるよう頑張っています。中にはエンジニアを目指している卒業生もいます。今、インドは経済がすごい勢いで発展しつつあり、日本企業がたくさん進出しています。日本語の読み書きが出来る通訳・翻訳者は大変需要があります。貧困やカースト差別などのハンデがある者でも、実力さえあればよい企業への就職の道が開けます。



卒業生たちはコンピュータと日本語を学び、日本企業への就職を目指しています！



ブッダガヤ母子保健プロジェクト

このプロジェクトは、保健師、医師、看護師をされている日本の有志の方たちのアドバイスを受けてNGOチルドレンエイドが村で行っている、母子の健康向上を目指す活動のことです。2010年から継続しています。経費は職業訓練で製作したハンディクラフト作品の販売売上げで賄っています。エンジェルエイドはこのプロジェクトを応援しています。



<ブッダガヤ母子保健プロジェクト> は妊婦と新生児の健康向上を目的として活動しています。2015年9月から訪問する村を2ヶ所にしました。妊婦と新生児の健康相談、妊婦の体重測定と血圧測定、新生児から一歳未満の乳児の体重・身長測定、母親達への衛生教育・育児指導を行っています。

毎月の体重・身長測定を通して、栄養が足りているか、どこか病気ではないかなど、新生児や乳児の健康状態を母親に意識してもらうのが目的です。様々な村をリサーチし、特に貧困レベルが高く、新生児が多い村を選びました。

<村の出産> 以前に比べると、州政府が奨励しているからですが、病院での出産がかなり増えて来ました。しかし、まだまだ昔ながらの方法で自宅出産をする人もいます。病院で出産すると、産婦も、連れて行った人も奨励金がもらえます。出生時の体重など、出産の記録などが書かれる母子手帳（冊子にはなっておらず、折りたたんだ地図のような紙）がもらえます。妊婦で出産が間近な人に質問してみると、病院での出産は気が進まないと言っていました。病院だとすぐに帝王切開される気がして怖いのだそうです。自宅での出産は何もなければいいのですが、もし何か異常があり、すぐに処置しなくてはならない場合、間に合わない、と説明し、病院ならすぐに対応出来ると、病院での出産をお勧めしました。

<乳幼児の皮膚病> 乳児や幼児で気になったのは、皮膚病です。貧しい村は生活用水の水質が悪く、また水路が整っていないせいであちこちに不衛生な水溜りが出来、ばい菌が繁殖しやすい状況にあります。無料で治療してくれるクリニックを紹介していますが、村の女性はなかなか病院に行きません。いつかは村に定期的に医師・薬剤師を呼んで巡回診療が出来ればいいなと考えています。村の女性たちや子供達が健康で元気に生活出来るよう、お母さんたちの教育に力を入れてまいります。（井上如）

<現地NGOチルドレンエイドが運営するスーリヤ・バハルティ・スクール>



今ここ！

2015年エンジェルエイドが
卒業生進学支援を開始

2014年4月「秘境に嫁いだ日本人妻」テレビ東京出演



2015年4月第四期生 卒業



2012年4月第一期生 卒業



2008年から週2時間、日本語授業開始



2007年学校名を「スーリヤ・バハルティ・スクール（太陽のインド学園）」に変更



2002年2月「海外で活躍する日本人女性」テレビ東京出演



2002年1月チルドレンエイドがNGOとして登録



2001年10月「チルドレンスクール」開校

NGO「チルドレンエイド」スタート！

エンジェルエイド・サポーターの皆様へ

NGOチルドレンエイド・井上如

一般社団法人エンジェルエイドのサポーターの皆様、卒業生たちの進学支援、本当にありがとうございます。NGOチルドレンエイド（Bodhgaya Children Aid Charitable Trust）のディレクター兼ファンドレイザーをしている井上如（ゆき）です。2001年から夫スグマ・クマールと共に、ブッダガヤで貧しい子供達の教育をしています。これまで70名が私達の運営するスーリヤ・バハルティ・スクールを卒業しました。鉛筆の持ち方もわからなかった子供達が大学へ進学出来るようになるとは、村で学校を始めた15年前は正直、想像も出来ませんでした。卒業生たちは皆、センター試験（CBSEインド中央政府主催の試験）で私立校の生徒の平均以上の成績を修めることが出来ました。どんなにひどい環境に生まれても教育を受けることが出来れば、貧困とカースト差別の悪循環を克服することが出来る、それを彼らは証明しています。卒業生たちが社会で成功していくことが、教育のパワーを人々に知らしめ、インド社会を変革していく力になると思います。皆様のご協力に心より感謝申し上げます！



洪水被害緊急復興支援のお願い

2014年8月初旬から中旬にかけ、ビハール州やUP州など北インドで雨季の豪雨により歴史的な洪水が起こりました。スーリヤ・バハルティ・スクールも洪水の被害を受けました。校舎や学校備品の甚大な被害が出ています。椅子や机が壊れ、低学年の生徒たちは床に座って授業を受けています。また、通学用バスも修理が必要です。生徒たちが学業に専念出来るよう、復興支援にご協力をお願いいたします。



ネパール大地震による被害 2015年に発生したネパール大地震の際は、ブッダガヤも震度4～5程度揺れました。ビハール州はネパールと国境を挟んですぐ隣で、ビハール州内でも死傷者が出ました。地震が起こったのは授業中でしたが、生徒たちはすぐに避難して無事でした。校舎のあちこちに亀裂が入り、屋根も一部損傷しました。

エンジェルエイド・現地スタディツアーのご案内



エンジェルエイドはブッダガヤの現地支援先NGOの活動を見学するツアーを企画しています。ツアーでは、エンジェルエイドが支援している奨学生たちと交流・スーリヤ校でボランティア教師・村の家庭訪問・世界遺産マハーボディ寺院参拝・ブッダガヤの世界各国の寺院見学・前正覚山・霊鷲山・ナーランダ大学遺跡などの観光が出来ます。参加ご希望の方はエンジェルエイド事務局までご連絡ください。 angelaidassociation@gmail.com

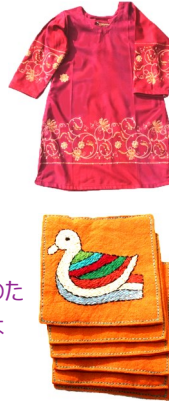


絵葉書やハンディクラフト作品

スーリヤ・バハルティ・スクールでは、ビハール州の伝統的画法「マドウ・パニ・ペインティング」を生徒たちに指導しています。生徒の作品を絵葉書にしました。絵葉書の売り上げは、給食費など学校運営のための寄付として使用させていただいています。



エンジェルエイドは現地NGOチルドレンエイドが行っている村の女性の職業訓練プロジェクト「アカッシュガンガ・プロジェクト」にも応援しています。村の貧しい女性たちが裁縫や刺繍を学び、貧困生活の中で収入を得る機会を提供しています。彼女たちの作品の売り上げは、「ブダガヤ母子保健プロジェクト」の運営に使用しています。村の妊婦や母親、乳幼児の健康促進のために役立たせていただいています。詳細はホームページをご覧ください。



絵葉書やハンディクラフト作品の購入は、エンジェルエイド事務局までお問い合わせください。

<ボランティア募集>

★日本語教育プロジェクト・スカイブレスン ボランティア

(ブダガヤの日本語を学ぶ学生たちとスカイブを通して日本語で会話していただきます。簡単な日常会話の練習が目的ですので、経験のない方でもぜひご参加ください。)

★事務ボランティア

(事務局の事務のお手伝いをしてくださる方を募集しています。パソコンが得意な方、ビデオ編集が得意な方、ぜひご協力ください。)

★絵葉書やハンディクラフト作品 販売協力をお願い

(レストランやカフェ、クリニックなど販売協力店もぜひご紹介ください。)

お問い合わせ先 エンジェルエイド事務局

電話 : 0774-26-7785

Eメール angelaidassociation@gmail.com

エンジェルエイドの活動にご賛同くださる方は、ぜひエンジェルエイド・サポーターに登録をお願い致します。サポーターの皆様には、継続支援または一時支援のご寄付をお願いしています。

※継続支援 月々 一口 1,000円～ (口数は 自由)

※特別奨学生支援 月々 一口1万円～

※一時支援 (教育/洪水 緊急 復興支援) 金額、回数 自由

(継続支援または一時支援は、所定の口座振替の申込用紙をエンジェルエイド事務局までご返送ください。一時支援は下記の口座へ直接お振込みも可能です。)

三菱東京UFJ銀行 京都駅前支店

(普通) 434 3233593

口座名義 : シヤダンホウジンエンジェルエイド

〒610-0343 京都府京田辺市大住責谷36-1 8

一般社団法人エンジェルエイド事務局

詳細はホームページをご覧ください。

www.angelaidassociation.org

<一般社団法人エンジェルエイド>

(目的) 当法人は、地球上のあらゆる地域、特に開発途上国において、青少年の教育支援、乳幼児の健康支援、母親の保健・衛生教育などの支援を通して、子供たちが尊厳ある人間として生きる力を得て、社会に役立つ人材に育つよう応援すること、また、各国の青少年の異文化交流事業を通して、国や文化の違いを超えて地球人類が互いに平和な社会を構築することを目的とする。

(事業) 当法人は、前条の目的を達成するために、資金集めを行い、次の事業を実施する。

(1) 幼児教育・保育、学校教育及び職業訓練教育等の実施、その教育・保育施設の建設及び運営等に関する支援、奨学金の給付。

(2) 途上国の母子に対して、保健・衛生・栄養・育児等の教育指導、また女性の意識向上のためのセミナー活動をするための支援。

(3) 給水施設など生活環境の改善のための支援。

(4) 医療上の援助、食料、学用品、その他生活必需品等の援助。

(5) 家庭を失った子供に対する保護及び援助。

(6) 日本や海外での国際交流イベントの実施。

(7) 日本を訪問する青少年のためにホームステイ先のホストを紹介するボランティアのネットワーク事業。

(8) 前各号に掲げる事業を実施するため、内外の民間援助組織との連携、日本人専門家の派遣及び必要物資・資金の援助。

(9) 途上国の特産物、特産加工物等の製造、輸入、販売に関する事業。

(10) 前各号の事業に関する情報の収集、調査研究、啓蒙及び広報活動。

(11) その他前各条の目的を達成するために必要な一切の事業。＊一般社団法人エンジェルエイド定款より抜粋